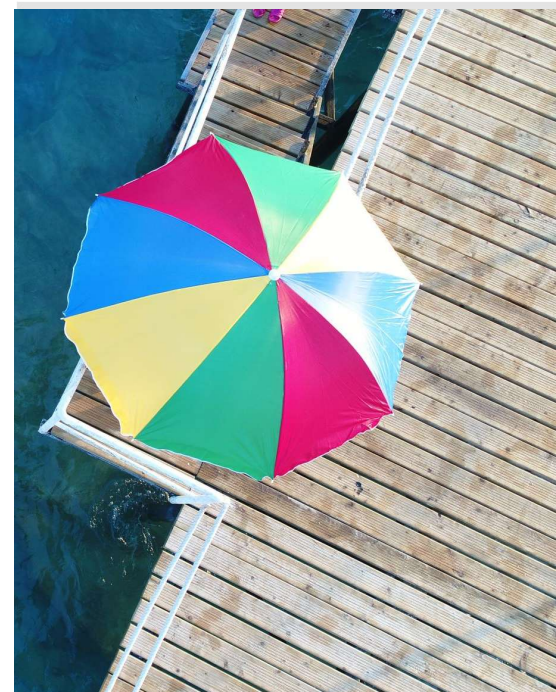


第15回 牧みゆき市政報告会

2026.7.18 sat. 夙川公民館 第2集会室



今日のお話

- ・活動報告
- ・6月定例会 topic
- ・国政関連（意見書・請願）
- ・津門飯田町外工場等跡地まちづくり方針
- ・外郭団体（さくらFM）
- ・プレラにしのみや空調設備更新
- ・質疑応答 活動案内

活動報告

令和8年度 ・総務常任委員会(2年目)・広報委員会・都市計画審議会



小学校議場見学



茶話会



総合医療センター開院式典



駅活動 &
ポスター掲示

お手伝い



6月定例会 topics



一般質問 6月22～24日
委員会審議 6月29、30日
最終討論・決議 7月3日

◆議案

- ・補正予算
- ・職員の通勤手当制度の見直し

◆委員会報告

- ・総務 津門飯田町外工場等跡地まちづくり
方針・さくらFM・民間提案制度
- ・民生 西宮砲台跡地の方針
- ・教育こども 中東情勢の影響
- ・建設 上下水道料金見直し

◆意見書・請願

- ・特定利用空港・物価高騰・学校カリキュラム
- ・介護等 6件

国政関連

意見書・請願

伊丹空港・姫路港の特定利用

- ・安全保障 昨年から全国で展開

物価高騰対策 ★中東情勢

- ・国の補正予算の具体化を求める

この他

学校のカリキュラム・介護・胎児の事故

つといいでんちょう

津門飯田町外工場等跡地

まちづくり方針 vol.1

ー 阪神間に残された貴重な一等地における土地利用の大転換 ー

津門飯田町外工場等跡地
まちづくり方針 vol.1

2026年6月

津門飯田町外
工場等跡地まちづくり協議会

<協議会メンバー>

- ・西宮市
- ・大和ハウス工業株式会社
- ・西日本旅客鉄道株式会社

津門飯田町外工場等跡地まちづくり方針vol1 (概要版)

津門飯田町外工場等跡地まちづくり方針vol1

2026.6 津門飯田町外における工場等跡地の大規模土地利用転換に伴うまちづくり協議会





6 対象地の 将来像



柏の葉(千葉県柏市)

まちづくりの基本方針

GREENを軸に、人・暮らし・活動が重層する都市空間へ

シンボルとなる広場を中心に周辺地区を一体的に再編し、
暮らす・働く・学ぶ・集うが連続する西宮らしい新たなまちを創造する。

神戸・大阪、
山の手・海の手を
結ぶ新たな
複合都市拠点

Walkable
/Well-being

未来に
つなぐ新たな
文教住宅の
モデル都市

Public Garden
/Biophilic

豊かな自然の
再定義による
環境学習都市

Re-generative
/Greenfield

Zoning

■想定される用途や導入機能の例

住宅・商業・業務
文化・教育・交流機能
医療・福祉・生活支援機能
研究開発・産業機能
観光・宿泊・エンタメ機能
体験・学びの機能
公共空間
(賑わい・ふれあい・環境・健康・防災)
など



イメージ画像



※本図は、想定される用途や導入機能の組み合わせ、配置の考え方を概念的に示したイメージ図であり、ゾーン別に特定の用途や配置を想定したものではありません。

7 都市基盤の 再編

対象地の優れた開発ポテンシャルを最大化するため、機能改善を伴う水路の付け替えや街区の再編などにより土地の有効活用を図る。

開発事業によって生み出される公園と一体的に機能する民有地内の空間を活用し、本プロジェクトの整備コンセプトにふさわしい緑豊かで高質なオープンスペースを確保し、シンボリックな位置に配置する。

JR新駅の設置検討のほか、駅前広場など必要となる交通結節機能に関する検討を進める。また、地域課題の解消に向けては、対象地内に



■地域の課題

★工場跡地の用途転換

★JR線の南北の往来が困難

★スーパーがない

★公園・広場の不足（防災）





撮影:©Akira Ito.aifoto

グラングリーン(大阪市)



二子玉川ライズ(世田谷区)

牧の考えるポイント

Point1 JR新駅の検討

コンセプトの実現は新駅なしでは困難
南北通路開通は、新駅なしでは困難

暮らし＋働く＋学び＋集うが連続
滞留性がある回遊空間
車中心から人中心（公共交通機関）

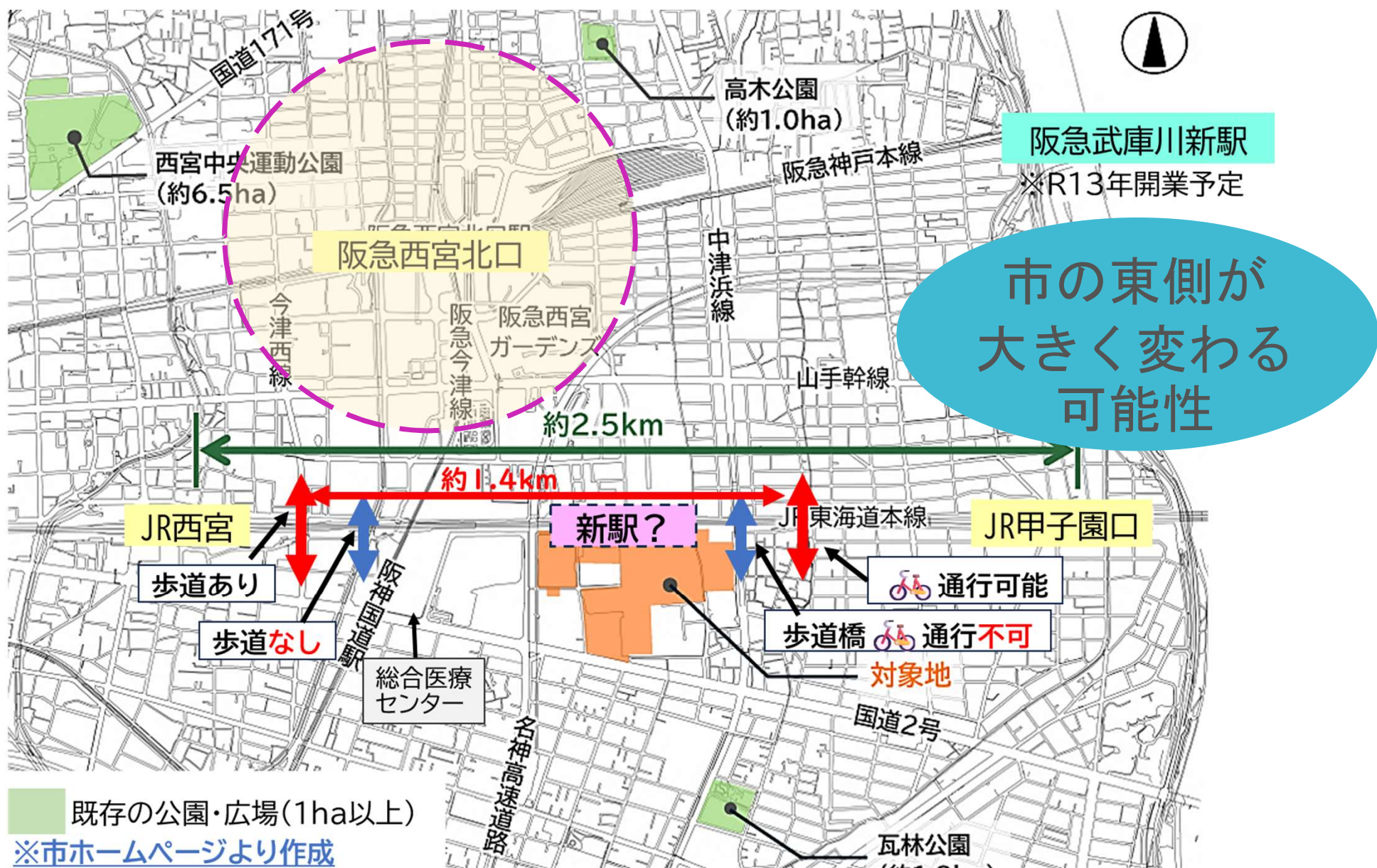
Point2 施設の内容

Green＋マンション？学校？会社？
モール？ホテル？MIX or全部

住宅・商業・文化・教育・交流機能
医療・福祉・生活支援機能・研究開発
産業機能観光・宿泊・エンタメ機能
体験・学び・公共空間(健康・防災etc)

Point3 民有地の開発

協議会メンバー 西宮市・大和ハウス工業株式会社・西日本旅客鉄道株式会社



報告 さくらFMの今後の方針

■外郭団体とは

- ・市が出資・委託し、市と連携して公共サービスを担う
- ・文化・スポーツ振興・土地開発公社・観光・交際交流など
- ・さくらFMもその一つ

■なぜ見直すのか

- ・社会情勢や市民ニーズの変化
- ・厳しい財政状況
- ・市の関与や団体のあり方を見直す

令和7年12月

外郭団体見直し方針策定

※さくらFMも該当

さくらFMについて委員会報告

■ 状況・役割

経営 開設当初から赤字傾向 基本的に市の委託ありき
利用率・聴取率の減 緊急告知機能付きラジオ販売低迷
役割 災害時の情報伝達手段の1つ 緊急告知が連動

■ 昨年の報告

- ・ 経営改善プランを求める→委託やあり方を見直す
※R8アンテナ設置が最終判断時期

市が厳しい姿勢で臨むことを感じ、委員会も概ね了承

■ 今回の報告

- ・ 委託継続 ・ 株主に呼びかけ役員を市OB入れ替え→縮小？

↑市の関与を強める方向 『半年で何が変わったの？』

総務委員会 牧みゆきの質疑と主張

【質疑】

- ・ 経営プランの是非は？ → 望むものではなかった
- ・ 半年で何が変わったのか？ → 変わってない やっぱり大事
- ・ 市の関与を強めてるが？ → 結果的に減らす
- ・ 意思決定の揺らぎは問題では？ → 方向を1つに定めていたわけではない。

【ポイント】

今後の外郭団体の見直しや、そのほかの見直し、改革にも影響

- ・ 方針転換には説明責任が必要
- ・ 判断基準を明確に示すこと
- ・ 行政への信頼につながる

必要なものにお金を投じれなくなっている
財政を建て直すことこそ
行政が果たすべき責任では？

プレラにしのみや

空調設備更新

★これまでの経緯

昨年5月不具合発生で真夏に抑制・一部運転停止 ※秋頃まで
★更新25年遅れを指摘→早期対応を求める 本会議会でも言及
→補正予算化で一部更新→12月に前倒し設計も決定

★7月15日 民生常任委員会

年度	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
内容	↔ 設計	↔ 【第1期工事】R9.11頃～R10.11頃 (約13か月間を想定) 【休館施設】中央公民館・プレラホール 男女共同参画センター・しごとサポート ウェーブにしきた		↔ 【第2期工事】 (詳細未定)

予算 約4億円
R9.11月～1年休館

市民生活への影響

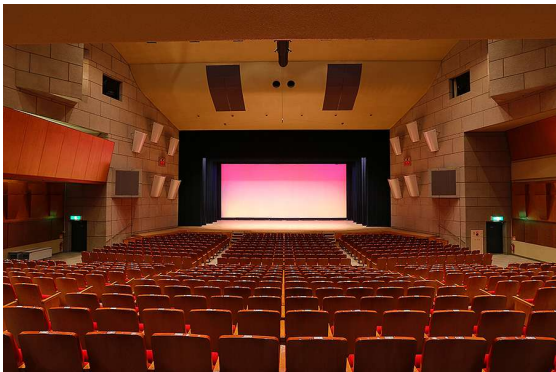
◆ 1 年間 利用できない施設

- ・ 中央公民館・男女共同参画センター・プレラホール
- ・ しごとサポートウェーブにしきた（4階～6階の公共施設部分）

※代替施設の利用 8 月から案内 アクタ・若竹・高木・瓦木等

R10 年度～アミティ・ベイコムホールも建替えて閉館予定

さらに、尼崎アルカニック 5 年閉館中・伊丹など近隣自治体でも



今後、更に建替え等は増えるため
課題への備えが必要

質疑応答



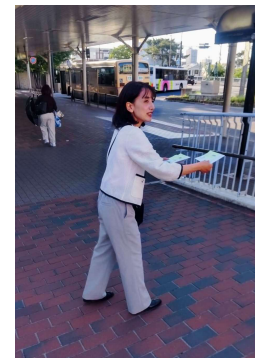
活動案内



★牧みゆき通信12号 駅活動

7月27日～8月17日頃 6駅10箇所

※いつでもお越し下さい👐



★市政報告会（地域版）

8月17日(月) 18:30～

8月29日（土）10：00～ ※次回は10月

★活動ミーティング

7月26日（日）10：00～12：00

★一般質問 9月始め登壇予定

9月茶話会開催予定

ありがとうございました。

